

医療機関等と連携した精神障害者のジョブガイダンス事業

1 趣旨

精神障害者の多くは医療機関等を利用しており、就職を希望する者の中には、就職に向けた準備が整っていない者や、就職活動に伴う緊張や不安が大きい者が多い。

このため、ハローワークから医療機関等に出向き、就職活動に関する知識や方法を実践的に示すジョブガイダンスを実施することにより、就職に向けた取組みを的確に行えるよう援助する。

2 開始年度

平成11年度

3 事業の概要

(1) 実施主体

ハローワークが主体となり、医療機関等の連携施設（※）に出向いて実施。

- ※ 主な連携施設
- ・ 精神病院（精神科デイケア）、精神科診療所
- ・ 保健所、精神保健福祉センター
- ・ 精神障害者地域生活支援センター
- ・ 精神障害者授産施設、小規模作業所 等

(2) 対象者

就職意欲は高いものの、就職活動に伴う緊張・不安が大きいため、就職活動に踏み出せない者等

(3) ジョブガイダンスの内容

- 職業講話
 - ・ 働く意義
 - ・ 病気とのつきあい方
 - ・ 労働市場の動向 等
- 具体的な求職活動方法の指導
 - ・ 就職支援機関の活用方法、仕事の探し方
 - ・ 事業所とのコンタクトの取り方、電話の対応方法
 - ・ 履歴書の書き方、面接の受け方 等

(4) 実施時間等

1日当たり2時間程度を目安とし、5日間程度実施。（5～10名程度／回）

(5) ジョブガイダンス修了後の支援

対象者の状態に応じ、①ハローワークにおける職業紹介の実施、②職業準備訓練等の職業リハビリテーションの実施、③引き続き医療機関が中心となった支援を継続。

4 実施状況

(1) 平成17年度実績

- 実施安定所：111所（平成16年度 108所）
- 連携施設数：229施設（ ” 230施設）
- 対象者数：994人（ ” 913人）

(2) 平成18年度計画

- 対象者数：965人（平成17年度 965人）